

## 歩き始める時期です

「つかまり立ち」や「つたい歩き」が始まる頃になると、手や指の動きがどんどん器用になっていきます。扉を開ける、両手にもものを持って打ちつける、ひっぱるなどさまざまな動作ができるようになります。そして、ひとり歩きがしっかりしてくると、またいだり、しゃがんだまま遊んだり、階段をのぼったりと、環境や遊びに「高さ」が加わり始めます。

☑チェック  
してみよう

### ご家庭ではこんなことに気をつけましょう！

歩いて動き回れるようになると、お子さんの行動範囲はさらに広がります。それだけに、転んだり、段差から落ちたりといったケガが頻発する時期です。

- テーブルの角や家具のとがった部分にはクッション材をつけましょう。
- ハサミやカッターなど、とがった物は、床に置かないで！  
箸、歯ブラシ、ボールペンなど棒状のものは持たせないで！
- 立ち上がれるようになると、大人が想像するよりもずっと高い所に手が届きます。  
手にしたり、口に入れた際に危険なものは、床から1メートル以上の高さに置くようにしましょう。
- 子どもが食器棚やシンクの下棚を開けて洗剤や薬などを飲んでしまわないように、チャイルドロックをつけましょう。
- お風呂でおぼれる事故が一番多い時期です。お風呂やトイレなどの水や湯を使用する場所には、必ず鍵をかけましょう。お風呂の残し湯はしないでください。
- 「あんな高いところにはのぼれないはず・・・」と書いていても、子どもはいろいろな物をつたいながら、高い所にのぼってしまいます。窓やベランダ、キッチンの近くには、子どもの踏み台になりそうなものは置かないようにしましょう。
- 大人用の自転車に乗せる時は、必ずヘルメットを！！



### 【 保育所で気をつけていること 】

- 行動範囲が広がるので、必ず、目を離さないようにしています。
- テーブルや机、棚の角でケガをしないように、角が丸いものを選んだり、クッション材やタオルなどで保護したりしています。
- 洗剤や薬品は、手が届かない高い棚の中に保管しています。
- 知らない間に扉を開けて入り込んだり、戸の開け閉め時に手をはさんだりしないように、扉には鍵をかけています。
- ズボンの裾で滑らないように、まくります。  
(ズボンが長い時は、短く縫いつけたり、裾にゴムを入れたりすると○)



## 歩くことが楽しくなる時期に お家の方とこんなあそびも楽しいですよ！

### 《よちよちあひるさん》

おうちの方が足を少し開いて立ち、お子さんの両腕をしっかり支えながら、足の甲に立たせます。

「おいっちに、おいっちに」と言いながらゆっくり歩いてみましょう。

「おもちゃのところまで行ってみようか」など目的を決めて歩くのも楽しいですね♪

### 《あんよは じょうず》

♪あんよは じょうず ころぶは おへた♪ と歌いながら歩くことを楽しみましょう。子どもがバランスを崩した時に、すぐに手を伸ばして支えられる距離で見守り、最後にギュッと抱きしめてあげましょう。



記憶力が育って、まねすることも増えてくるので、「手あそび」も喜びますよ♪

### 《ちょち ちょち あわわ》

① ちょち ちょち



両手を合わせる

② あわわ



手を口元に持って行く

③ かいぐりかいぐり



右手と左手を  
くるくる回す

④ とつとつめ



片手を開き、もう片方の  
手の人さし指でつつく

⑤ おつむてんてん



両手で頭をたたく

⑥ ひじほんぼん



ひじをもう片方の  
手でたたく

## 《 読み聞かせにいかがですか？ 》

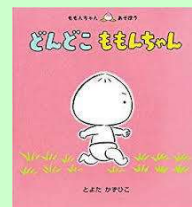
「くつつあるけ」 福音館書店

出てくるのは、小さくてかわいい一足のくつだけ。楽しい擬音がいっぱい。テンポのよい文章で歩き始めにぴったりの一冊です。



「どんどこももんちゃん」 童心社

かわいらしいお顔にオムツ一枚の赤ちゃんの名前ももんちゃん！  
「どんどこ、どんどこ」と繰り返されるリズムカルな言葉は子ども達にも人気です。



手や指の動きがどんどん器用になってきます。

この頃は、出したり入れたり大好き！簡単にできる「手づくりおもちゃ」を紹介します。

100円ショップで売っているタッパーに穴をあけるだけで、ポットン落としのできあがり！

最初は、大きな穴から始めましょう。

あきてきたら、穴の大きさを変えたり、落とす物を変えたりしましょう。

いろいろなものを落として2歳くらいまで楽しめます。



ストローを短く切って、ペットボトルに落とすだけでもできちゃうよ！